



地域包括ケアシステムの運用をささえる

～住み慣れた地域で自分らしい暮らしを～

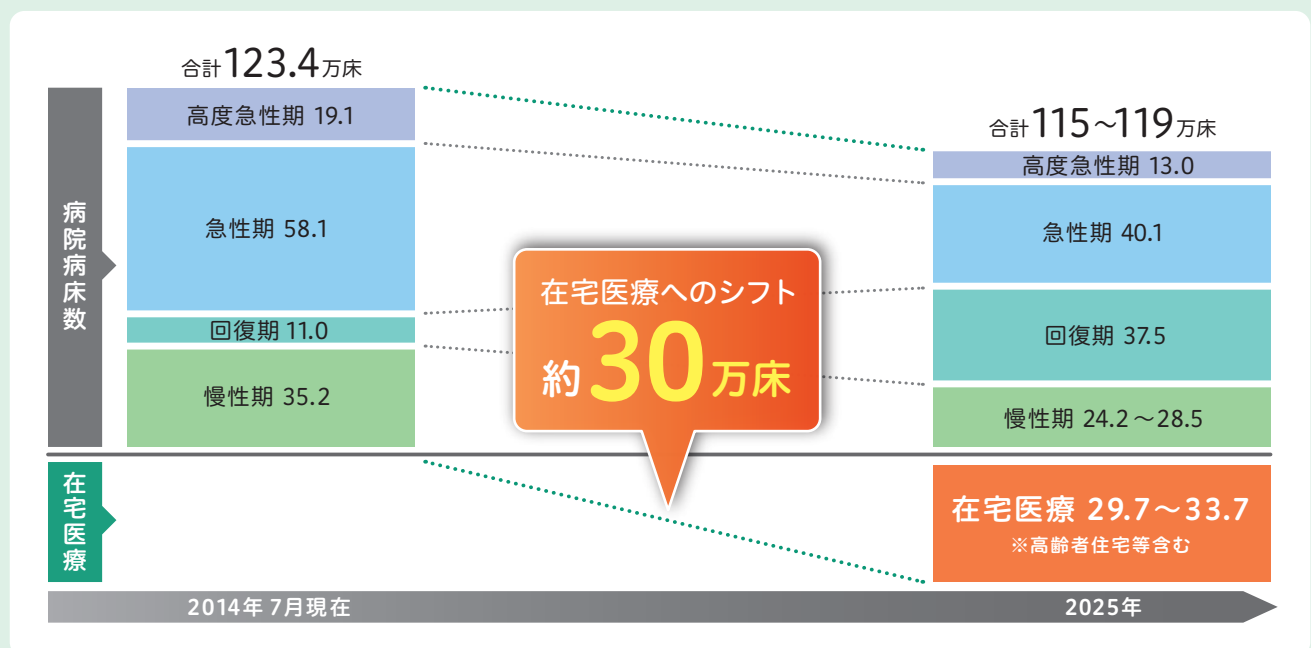
VitalLink
バイタルリンク®

多職種連携情報共有システム

多職種連携で在宅患者を支える社会へ

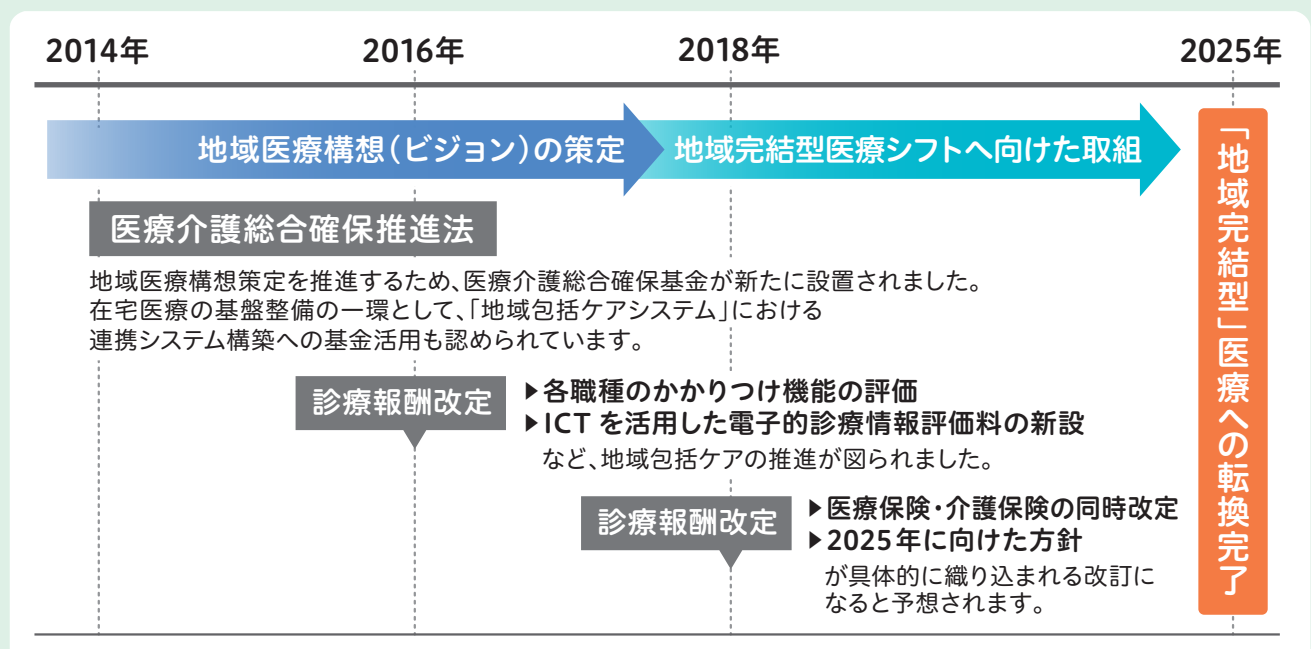
2025年に約30万床が在宅医療へシフト

人口の少子高齢化を背景に、限られた医療資源を効果的・効率的に活用するため、医療ニーズに応じた病床の機能分化が必要とされています。それに応える形で厚生労働省を中心に、2025年に向けて「病院完結型」医療から「地域完結型」医療への転換が加速度的に進められ、約30万床が在宅医療へシフトすると試算されています。



第5回医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査委員会資料(社会保障制度改革推進本部)改変

「地域完結型」医療への転換に向けてさまざまな施策が行われています。地域医療構想推進を目的とした医療介護総合確保基金の設置や診療報酬での評価などの動きが始まっています。

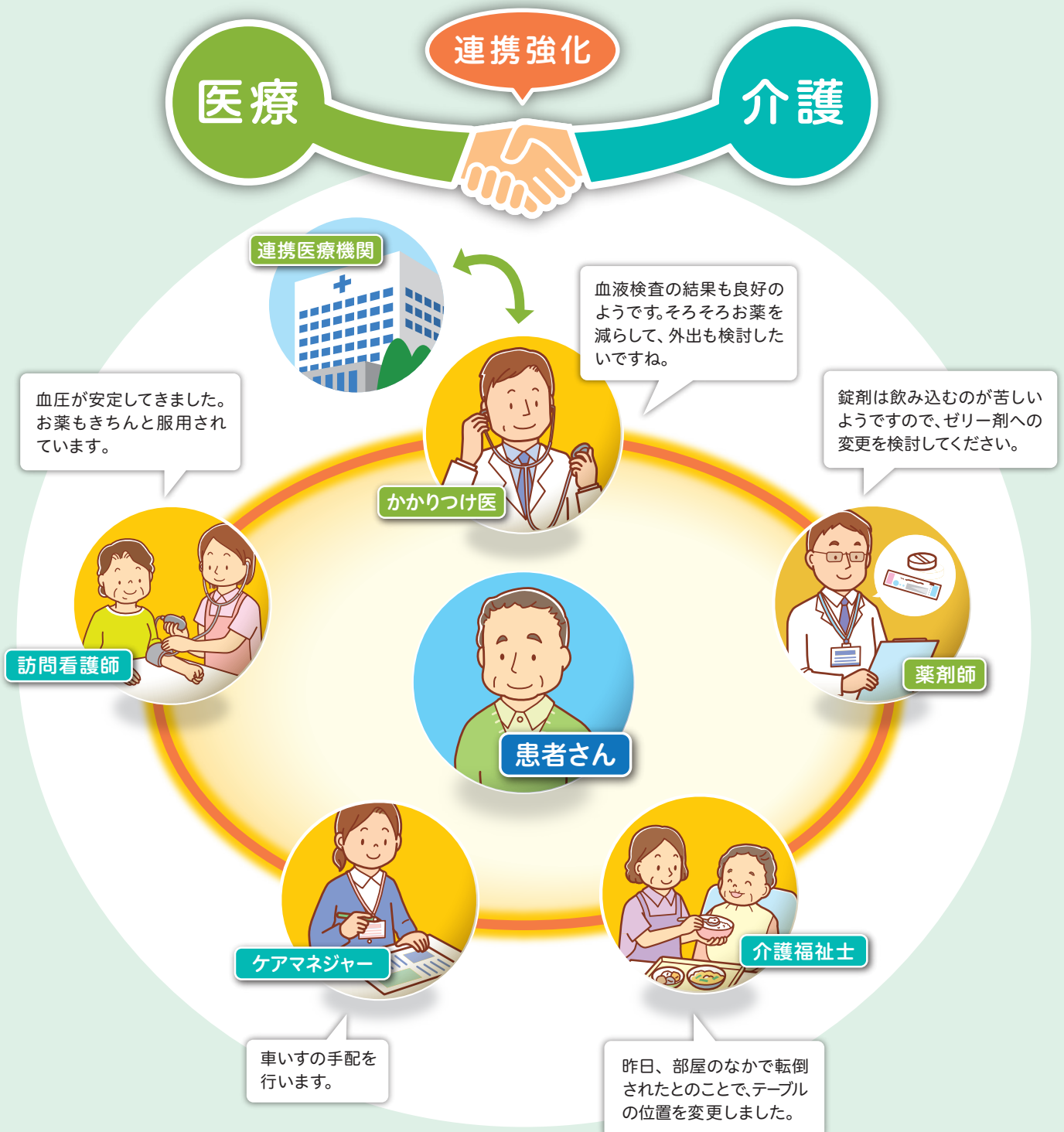


平成25年8月6日 社会保障制度改革国民会議 報告書(概要)を基に作成



地域包括ケアシステムの実現に向けた**多職種連携**の必要性

「地域完結型」医療へのシフトを実現するためには、住まい・医療・介護・予防・生活支援が包括的に提供される体制、すなわち「地域包括ケアシステム」の構築が必須です。「地域包括ケアシステム」では、かかりつけ医、訪問看護師、薬剤師、ケアマネジャー、介護福祉士など多職種間の切れ目のない連携によって、患者さんが住み慣れた地域で可能な限り自分らしい生活ができることを目指します。




切れ目のない連携でさらなるケアの向上を


多職種連携における情報共有の課題

多職種連携における情報共有は、さまざまな形で取り組まれています。紙媒体ではリアルタイムでの情報共有が難しいことや、関係者への情報伝達に手間がかかるなどの課題がみられます。また、せっかく測定したバイタルデータが測定者ごとに分散していると、経時的な管理が困難になり、患者さんのケアに活かすことが難しくなります。

ICTシステムの利用に際しても、複雑・多様な機能により習得までに時間を要するケースや、セキュリティ面に対する不安などの課題が考えられます。


紙媒体での情報共有では…


 患者さんの情報をリアルタイムで確認することが困難

 手書きの連絡ノートやFAXなどでは情報の蓄積・管理が難しい



ICTシステム導入にあたっては…

 上手く活用できるか心配

 セキュリティは万全か情報漏洩の危険性はないか不安



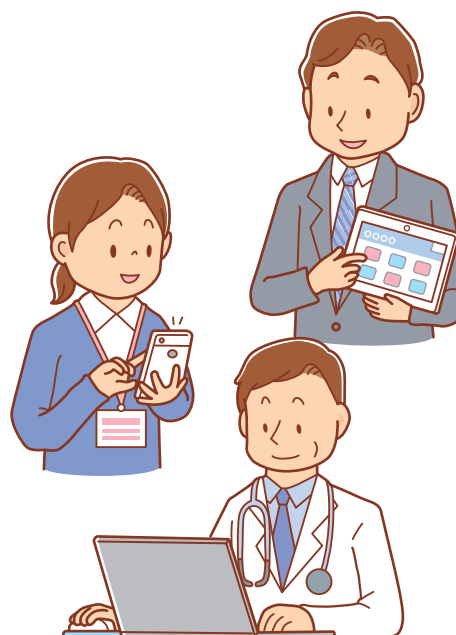
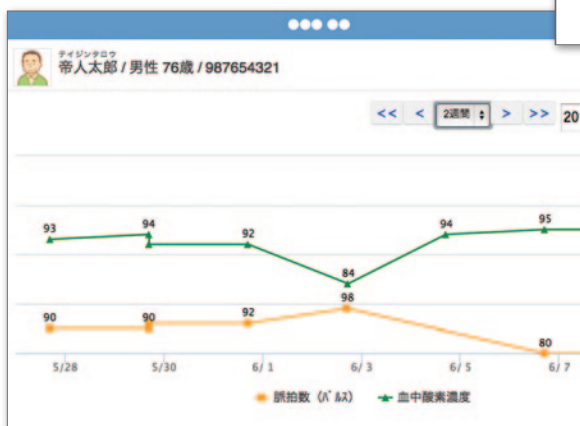
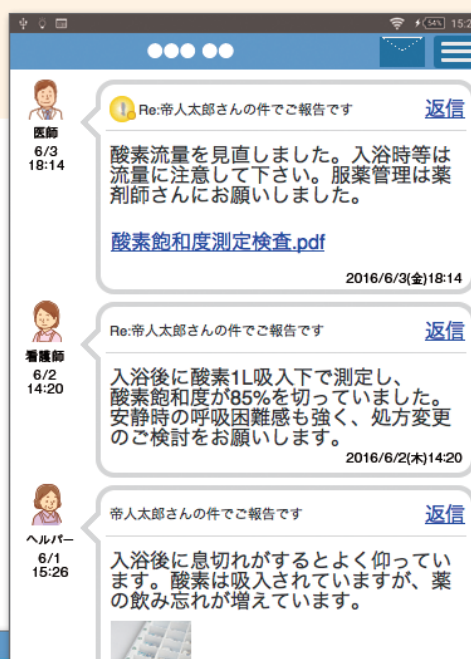


バイタルリンクで課題を解決

バイタルリンクは、パソコンやスマートフォン、タブレットを用いて、情報の閲覧や登録が可能なため、いつでもどこでも、患者さんの情報を簡単に確認・共有ができます。
また、分散していたバイタルデータの一元管理が可能のため、経時的な変化が捉えやすくなります。

シンプル機能で簡単操作

- ☺ 多職種間でリアルタイムな情報共有を実現
- ☺ バイタルデータの経時的な蓄積・管理が可能



- ☺ 弊社専任スタッフが適宜サポート
- ☺ 安心・安全のセキュリティシステム

バイタルリンクの特徴

バイタルデータ管理機能

バイタルデータを一元管理することにより経時的な状態変化が確認でき、患者さんのケアに活かすことが可能になります。

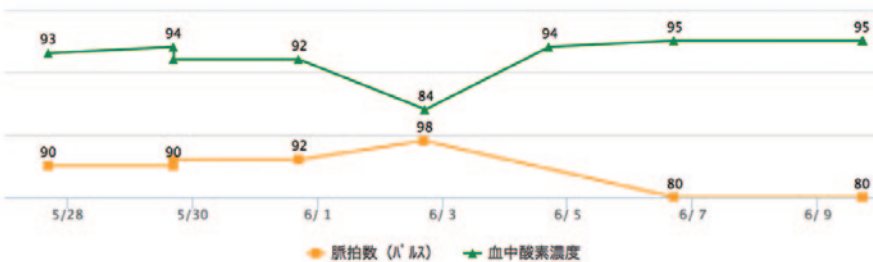


バイタルデータ入力画面では
直接入力とNFC*を利用した入力が可能です。

*NFC (Near Field Communication) : Felicaなどに用いられている非接触 IC カードの規格。
※NFCを利用したデータ自動入力には、NFC 対応の医療機器及び携帯端末が必要となります。



● バイタルデータのグラフ



入力可能な項目

- 体温
- 血圧
- 脈拍
- SpO₂
- 血糖値
- 体重
- BMI
- 体脂肪率
- 歩数

日常生活、療養状況評価機能

日常生活や療養状況の評価項目を自由に設定することができます。

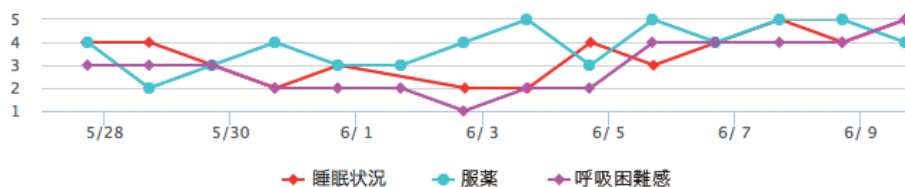


患者状態を表すアイコンを選択するだけで
簡単に5段階の評価を入力することができます。

分かりやすい
アイコン表示



● 患者状態のグラフ



任意の項目を設定可能 (設定項目例)

- 睡眠状況
- 服薬
- 呼吸困難感
- 痛み
- 食事



連絡帳機能

多職種間における詳細で新しい情報の共有を可能にし、切れ目のない連携でよりよいケアの実現をお手伝いします。病状の写真や各種報告書などの画像を添付して送ることもできます。

メール配信機能

重要な情報を共有する場合は、連携をしている多職種へメールを配信し、見逃しを防止します。タイムライン上でも重要メッセージマーク(📧)が表示されます。

タイムライン形式で分かりやすい!

各種報告書

残薬確認

送信可能なファイル形式
jpg/png/PDF/Excel/Word
*1送信につき、合計10MB/回まで対応

その他の機能

おくすり情報の共有による服薬管理

多職種メンバーのスケジュール管理

カルテ情報などの患者さん情報を登録・共有

本人情報	
氏名	テイジンタロウ 帝人太郎 さん
性別	男性
年齢	76歳 (昭和15年5月26日)
住所	〒100-8585 東京都千代田区
自宅電話番号	03-000-000
携帯電話番号	010-0000-0000
メールアドレス	
プロトコルID	987654321
カルテID	123465789
施設・診療科	東京みやこ在宅クリニック / 在宅
主傷病名	COPD、高血圧
受診方法	<input type="checkbox"/> 通院 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療
既往歴	55歳時に受けた健康診断にてCOPDの指摘を受け、東京みやこ総合病院を受診しCOPDのI期と診断。2013.6 COPD急性増悪の為、緊急入院。退院時に、肺機能の低下による労作時の低酸素状態が顕著となり、2014.7より在宅酸素療法を開始。
病歴	<input checked="" type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input checked="" type="checkbox"/> 高脂血症 <input type="checkbox"/> 肝炎・肝硬変 <input type="checkbox"/> 腎不全・CKD <input type="checkbox"/> 脳卒中 <input type="checkbox"/> 心不全 <input type="checkbox"/> 狭心症 <input checked="" type="checkbox"/> COPD・喘息 <input type="checkbox"/> 癌

ご利用開始までの流れ

- ① **利用申込** 所定の手続きに沿ってお申込みをいただきます。
- ② **導入準備** 情報共有を行う連携先と運用方法をお決めいただきます。
連携先を含め、ご使用になるパソコンやスマートフォンにバイタルリンクをインストールします。
- ③ **登録作業** 情報共有を行う連携先のメンバーや、対象となる患者さんの情報を登録します。

ご利用開始

導入後も安心してご利用いただけるよう、弊社専任スタッフが適宜サポートします。

厚生労働省ガイドライン*に準拠したセキュリティシステム

*厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(第4.2版)等が要求する「2要素認証」に準拠。更にSSL/TLS通信によってセキュリティを確保しています。

通信情報の暗号化に加え、電子証明書とID・パスワード入力による2要素認証で大切な患者さんの情報を管理します。



*1 証明書 (電子証明書)

バイタルリンクへの通行証です。管理者が認めた端末(スマートフォン、タブレット、PC等)に電子証明書をインストールしてご利用いただけます。電子証明書がインストールされていない(認められていない)端末からはバイタルリンクへはアクセスできないため安全です。

*2 暗号化 (SSL/TLS通信)

相手を相互に認証した上で、情報を暗号化、署名を施して、盗聴、改ざん、なりすましを防止します。

ご利用推奨
動作環境

OS	推奨ブラウザ
Windows 7 以降	Google Chrome
Android Ver4.2 以降	Google Chrome
Macintosh OS X v10.10 以降	Safari
iOS Ver8.0 以降	Safari

同じ動作環境でも他のアプリケーションのインストール状況によっては、正常に動作しない場合もございます。あらかじめご了承ください。

バイタルリンクは、NTTエレクトロニクスの商標です。
Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Android および Google Chrome は、Google Inc. の商標または登録商標です。

Safari は、米国 Apple Inc. の商標または登録商標です。
iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。その他の社名、製品名、ロゴなどは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

開発元

NTT Electronics

発売元

帝人ファーマ株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霞が関 3-2-1